

【一般社団法人

水源の里まいばら

再生可能エネルギー協議会

共同活動組織【東草野炭焼き文化保存会



INTRODUCTION

SDGs を実践することを目指して、米原市の最北部に位置する東草野地域で、活動しています。滋賀県の「やまの健康事業」を核として、里山の再生と資源の利用、耕作放棄地の有効活用、ソーラーシェアリングによる営農などの活動を行いつつ、地域の諸課題に取り組んでいます。

50%



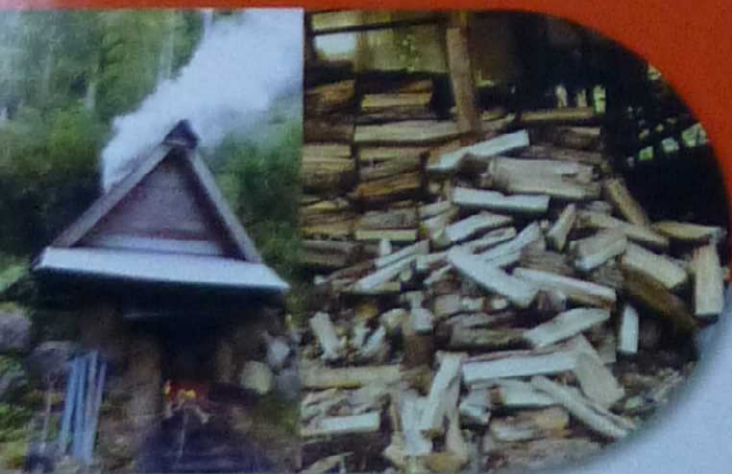
イマココ指数

Q. なぜこの活動を やっているの？

我が国は世界有数の森林資源国であるにも拘わらず、膨大な石化エネルギーを輸入しています。この資金を健全な森林育成に振り向け、そこからエネルギーを調達する事が緊要の課題です。田舎での雇用増加は、地方の衰退と人口の一種集中を是正します。バイオマスによる分散型スモール発電のネットワーク化は災害にも強いエネルギー供給が実現できます。

■里山の再生と資源の利用 広葉樹を活用して、木炭づくり、椎茸の原木づくり等、ミツマタの植樹による山の再生等 ■耕作放棄地の有効活用 年々増加する耕作放棄地を有効活用して、山菜の栽培、商品化に向けての取り組み。■ソーラーシェアリングによる営農 ソーラーパネルの下で、ミョウガ、ヨモギ、山椒、等の栽培と商品化に向けての取り組み。再生可能エネルギーに関する勉強会等。■イベント 炭焼き体験、山菜摘み取り体験など

Q. どんなことを やっているの？



Q. いま 困っていることなど ありますか？

予算面のやり繰り、事業の推進等の人手不足など、不自由な面があります。企業、大学生等の協力を得たいが、少し遠方になることから、関係づくりが困難です。

移住者の増加とともに、子どもの増加、地域の活性化、村が存続するとともに、賑わいを取り戻す事を期待しています。現在では、8世帯が移住し、地域の住民となって活性化の動きになってくれています。エネルギー問題に関心を持つと共に、田舎の価値評価のアップに繋いでいきます。

5年後、この活動から Q. 何が生まれている でしょうか？

